

第3回 新石垣空港駐車場管理・運営方針に関する懇話会 議事録

日時：平成23年11月22日(火)14:00～15:30

場所：八重山合同庁舎2階会議室

1. 開会

●事務局

これより第3回新石垣空港駐車場管理運営方針に関する懇話会について進めていきたいと思っております。私は会の進行を進めさせていただきます新石垣空港建設事務所の玉城と申します。よろしくお願いいたします。

まず会の前にお手元にお配りしている資料の確認をしたいと思います。資料については1から4について配布させてもらっていますが、資料1の方がは1頁から5頁まで、2の方が6頁から9頁まで、3の方が10頁から11頁まで、資料4の方が12頁から13頁までとなっています。よろしいでしょうか。

それでは会次第に沿って進めていきたいと思っております。開会を新石垣空港課班長宮城の方からお願いいたします。

●事務局

皆さん、こんにちは。新石垣空港課企画整備班長の宮城と申します。本日はお忙しい中、漢那副市長始め、皆様方のご出席頂きありがとうございます。去る9月14日に開催されました第2回の懇話会では、貴重なご意見、ご提案を頂きました。

本日は前回の懇話会でご説明しました通り、第2回懇話会の審議事項の確認報告と料金設定案についていろいろシミュレーションをしておりますので、そのご説明。それから運営方針の確認。それと懇話会のスケジュールの説明を行いたいと思っております。詳細の内容につきましては、後ほど担当の方からご説明させていただきます。

それではこれから懇話会を開会いたしますので、時間の許す限りご意見、ご提言をよろしくお願いいたします。

2. 委員紹介

●事務局

それでは次に本日の出席委員の報告を行いたいと思っております。石垣市副市長の漢那政弘様。石垣商工会副会長の宮城隆様。石垣市観光協会会長の宮平康弘様。八重山身体障害者福祉協会会長の代理と致しまして、副会長の市原由加里様。石垣空港ターミナル株式会社専務の高良和夫様。八重山地区レンタカー連絡協議会会長の瀬戸守様。沖縄県ハイヤータクシー協会八重山支部長の平良裕助様。東運輸株式会社代表取締役の前津文一様。大阪航空局石垣空港出張所所長の上里朝昭様。八重山警察署交通課長の代理と致しまして、規制係の喜友名タカシ様。石垣市建設部長の生巢武様。石垣市企画部長の吉村乗勝様。竹富町企画財政課長の勝連松一様。与那国町総務財政課長の譜久嶺弘幸様。沖縄県総務部八重山事務所総務課長の代理と致しまして総務振興班長の大嵩純道様。沖縄県土木建築部空港課長の照屋朝和様。沖縄県土木建築部新石垣空港課長の喜屋武忠様。沖縄県土木建築部八重山事務所長の嘉手納良文様。沖縄県土木建築部新石垣空港建設事務所長の久高将佑様。以上19名の出席でございます。

それでは次に議事に進ませて頂きますが、これからは座長のほうに進行を引き継ぎますので、よろしくお願いいたします。

3. 議事

▲座長

皆さん、こんにちは。石垣市副市町の漢那でございます。いよいよ新石垣空港駐車場の運営に関する懇話会。第3回目です。今回で最後ですね。最後の懇話会でございます。これまで7月、9月に開催されておりますが、大変貴重な意見ありがとうございました。

話は変わりますが、今日の地元の新聞に、「現空港の違法駐車一掃。八重山署が取り締まる」という記事がありまして、現空港も苦慮しているわけですが、新空港は皆さんの意見で円滑に開港ができるように、皆さんと一緒に知恵を絞っていきたく思っております。それでは議題に入りますが座らせて頂きます。

会次第を見てみますと、議事は4点ございます。先程、班長からもありましたが、第2回懇話会の審議事項の確認。それから料金設定の案について。そして3番、管理運営方針の確認。続きまして議事の4番目に懇話会後の取組というふうになっております。それではですね、早速、議事に入りたく思います。できればですね15時30分頃、遅くても15時45分には無事懇話会が閉じることができるよう、議事の進行をよろしくお願いします。それから議事の進め方ですが、1から4までございますが、1議題ごとに進めてよろしいですか。

それでは、事務局の方の説明をよろしくお願いします。

●事務局

－（事務局説明、資料-1）－

▲座長

はい、ご苦労さんです。前回の懇話会の報告なんですが、それに関しまして特に7番は持ち帰って調べるということでした。11番もそうですね。それから15番もそうですね。前回の未回答分を回答をしているのですが、もちろん前回回答した分も含めまして、確認等がございましたら、遠慮なく質問を頂きたいと思っております。よろしいですか。

■委員

まず6番のガードマンの人員配置。これは2名配置。16時間ということですか。

●事務局

はい。そうです。

■委員

これと併せて、15番です。15番の年間387万円のコスト削減ということですけども、単純計算して1日当たり16時間で計算すると、1時間1000円だとすると1万6000円ですよね。1万6000円の365日分を計算すると、数字が全然合わないんですよ。もっと増えるはずなんですよ。というふうに思うんですけども。

●事務局

この人件費についてはですね、シルバー単価を採用しておりまして、1日5300円で計算しております。これの2名削減分ということで387万という計算になっております。

■委員

わかりました。

■委員

7番で前回質問したことに対して答えて頂いたんですが、この内容を見て、私は理解できませんでした。ただ、駐車場を利用する障害者の皆さんがこのことを分かるためにどのような方法を検討しているのか。外からも障害者の方がいらっしゃたり、ひよっとしたらレンタカーでここを利用される場合もあると思うんですが、こういう周知をどのような方法でお考えでしょうか。

●事務局

バリアフリーについては、この7番の回答となっているんですが、駐車場の中にですね、標識や案内板とかの設計を今から行うんですが、その中で身障者専用スペースの近くでですね、「割引を行う場合はガードマンか総合案内所の方にカードを提示して処理を行って下さい」など分かるような形で周知したいと思っております。

▲座長

他によろしいでしょうか。それではですね、議事の2番目に進んでもよろしいですか。それではですね、議事の2番目の料金設定案について説明をお願いします。

●事務局

－（事務局説明、資料-2）－

▲座長

ご苦労様でした。料金設定につきましては、この懇話会で料金を設定することではなく

て、懇話会、あるいは地域住民からの意見というように、すなわち、沖縄県でこういう意見を参考に、県の中で検討して設定する。それからもうひとつ、議会に提案するという。こちらで設定するわけではありませんが、意見をお聴きしたいということでございます。料金設定につきまして、質問がございましたらどうぞ。

■委員

タクシーの送迎の駐車場の件ですけれども、有料でもいいから、玄関正面に駐車スペースをお願いしていたんですけれども。つい最近ですね、会議の時にですね、この駐車スペースを是非確保したいというのがあります。

▲座長

はい。あの支部長から送迎の予約タクシーは正面の方をお願いしたいということですね。後は台数の問題ですね。それについては今後調整ということで。

■委員

はい。先日、建設事務所と調整し、場所を確保して頂いているので。よろしくお願ひします。

■委員

新石垣空港建設事務所の久高と申します。基本的に、来客用の予約タクシーはお客様がいるということで、玄関前の配置を考えております。具体的な台数はですね、今後調整していきたいんですが、現計画通りで配置をしたいと考えております。

▲座長

料金設定の基本的なご意見がありましたら、ケース1から4までございます。どうぞ。

■委員

料金設定について、事業としてやっているもので、収支はバランスを失ってはいけない。それからすると、ケース1の宮古空港が唯一黒字となっていて、私はあえて宮古空港と同様という1番が数字の上ではいいんですが、宮古空港は市街地からやや近い。

利用者の料金の負担を考えた場合にですね、新石垣空港の場合は市街地から遠いということがありますので、その辺ですね、観光客並びに住民の人がなるべく安く使えるような料金設定がありがたいなと考えております。できればですね、離島ターミナルと同様な感じだと。

ケース2だとまだ、年間でマイナス8万1000円ということでもありますので、収入あるいは経費の方でプラスになるような努力を作れるのではないのかなと思います。その場合は宮古空港との整合性が県議会で問題になると思いますが、ちょっと遠いということを考えれば、負担軽減ということを考えていただきまして、そういったことも併せて検討していただけたらなと。

地元の要望としては、なるべく安く、負担が少なく、なおかつ収支のバランスがいいようなことを検討して頂けたらなと思います。

▲座長

会長からケース2という1時間100円以降30分50円の提案でした。その他ございますか。

■委員

料金とは別ですけれども、参考までに。管理は委託ということになると思うんですが、それは宮古の例も含めてですね。というのはこの中に職員を入れておりますので仕事のかかわりもあるものですから。

●事務局

管理についてはですね、現空港と同じく石垣市さんのほうに管理委託するというので考えております。宮古空港も同様なんですが、その中でですね、宮古空港は現駐車場を有料化したときに宮古島市職員を1人増という形で処理しております。ただ、新石垣空港についてはですね、現空港から新空港に移転することで面積も大きくなりますので、プラス1ではなくて、空港の規模が大きくなるのと同時に駐車場有料化も考慮した人員増になると思います。これは駐車場だけで見ている人数です。

■委員

それでですね、市が受託する前提で確認をしたわけですが、先程の試算、収支の件です

ね。私が確認したいのはそれなんですね。コストを最小限に抑えているんですね。それを良しとした時に、市と県の契約の中で管理などですね、実際それでいけるかどうかという疑問がでてきたもんですから。そのあたりは、今日話すことではないですので、この件については再度、空港サイドときちり詰めていかないといけないと思います。契約段階で「こういう話ではなかった」ということが起こらないように、もう一度しっかりと試算を要望いたします。

●事務局

貴重な意見ありがとうございました。今ですね、われわれの課とですね、石垣市さんと連絡調整会議というものを開催しておりますので、供用開始に向けてどのようにしていこうかということをやっておりますので、今日頂いたご意見を参考にですね、今後調整させて頂きたいと思います。よろしく申し上げます。

■委員

追加で。駐車場だけではなくて、新しく新空港になると、現空港の管理体制からまた人員が増えるものですから、先ほど、職員で対応というお話をされていたんですけど、宮古の例をとって、宮古の方に失礼ですけども、宮古島市は非常に職員がいらっしゃるということで、職員が対応できるということもあるんですが、石垣市の場合はですね、今本当に人員が苦しくて、さらに経費削減等があるものですから、職員でしかできないところは、職員でやるんですけども、他のアウトソーシングができるところは、極力、アウトソーシングして欲しいと思っています。

それに伴う予算もですね、ぜひ検討して頂いて、この場で話すような内容じゃなかったもので、別のルートで調整会議をやっていますので、その中でやっていきたいと思っています。また同じことをさらに言ってしまったんですけども、先ほどの収支の中でですね、傾向的には変わらないので、言わなかったんですが、ぜひ別ルートでですね、あのいい方向にもって行きたいと思っています。よろしく申し上げます。

●事務局

どうも貴重な意見ありがとうございました。

▲座長

それでは、問題に戻りまして、料金設定ですね。料金設定の基本的な考え方、今、ケース1とケース2の傾向がありまして、それ以外にいかがでしょうか。1、2、3、4の料金設定。

■委員

あの傾向的にはですね、1番が収入が高くなっている感じでいいんだと私は思っていますけども、後はその支出の方がですね、ぶれる方向にあるかと思うんですけども、傾向的には1から4まで、変わりませんので、先程、観光業界さんの方が言われた、宮古と違って遠い所にあるので、長時間駐めるという話であれば、ケース4の方が一番地元の方の負担は少ないんだと思います。

ただし、管理する側としてはちょっと負担がかかりますということですね。

■委員

私はケース2ですね。離島ターミナルと同様ということで、30分刻みでいったほうがいいだろうと。

それで、先程の現空港の話があったようにですね、第2回の時にも確認をとったんですけども、いわゆる定期駐車場の件についてですね。定期料金については、収支が賄えるように見直しが必要だろうと考えておりますね。今マイナスということであればですね、そのあたりはどうするのかと併せてですね。やはり、不公平感が無いようなあり方を考えておりますね。

▲座長

結論から言うと要するに、ケース2ですね。

■委員

はい。ケース2ですね。それから、参考までに定期なんですが、離島ターミナルは5000円ですね。定期について、もうちょっと気になるのが、今の台数で足りるんであるかどうかと

いう疑問もちょっと出てくるんですよね。そこの定期料金が3000円ということで、見直しが出てくるのかなと思っています。

▲座長

ケース1とケース2が出ています。

■委員

料金の設定ですけれども、ケース1とケース2があるんですけれども、やっぱり、当初からケース1の方がいいんじゃないかなと思うんですけれども。というのは、2時間、3時間も駐める人はいないと思うんです。だいたい1時間位で飛行機が出て、着陸しても1時間位と思いますので。

▲座長

とういことで、ハイヤータクシー協会はケース1。竹富町、与那国町の皆さんはどうでしょうか。

■委員

竹富町の勝連と申します。やはり料金については、安ければ安いほどいいと思います。ケース1からケース4まであるんですけれども、私が気にするのはですね、9ページの駐車時間ですね。1時間が100円刻みになっていますけれども、24時間駐車して、それ以上超えても100円しか上がらない。夜間駐車してもせいぜい2000円だと、那覇出張でもたいした料金ではないので、この料金だったら夜間駐車はいいだろうという計算で夜間駐車の方が増えるんじゃないかと思います。

料金もきちっと考えた上で、ケース1からケース4を検討する必要があるんじゃないかなと思いますけれども。

▲座長

1泊24時間、あるいは48時間の料金設定ですね。

■委員

そうですね。夜間駐車させないように。

■委員

色々な意見があると思うんですけれども、駐車場業界といいますか、観光業界が1泊1000円というのは、日本全国だいたい常識の1つかなと思っています。また、利用者にとっても分かり易いのではないかなと思っています。

さらにですね、私は最初にケース1か2ということ申し上げているんですけれども、ケース2の場合は、例えばターミナルビルの賑わいということを考えればですね、1時間以内に飛行機が着くちょっと前に、お迎えにいったら、ターミナルビルの中で、食べたり、飲んだり、食事したり、そういう滞在する楽しみもビルの方で演出して頂けるということになりますので、より空港ターミナルビルの中で楽しいひと時を過ごして頂けるようなことも大事じゃないのかなということも考えています。

私としましては、空港に行ったお客さんのお迎えだけじゃなくて、到着しても、お茶が飲めるとか、食事と一緒にすることを考えますと、やはり2時間、3時間滞在をさせていくような駐車場であればいいなということもありまして、先程も言いましたように、ケース2程度でなるべく安く。まあ、お迎えするだけではなくて、空港のターミナルで楽しんで滞在するというのも考えられる。しっかり、今の現場の経済状況等も考えましたら、やはり安くということの基本ですね。

今回は4つのケースを提出してしまっていて、条件設定がなされていますので、このケースで検証してみれば、多分、収支で採算がとれる可能性は十分にあると思います。もちろん事業ですから黒字にならないといけないのは理解できますが、利用者の利便性とか空港を楽しむとかを考えれば、より安い料金にして頂きたいなという思いであります。よろしくお願いします。

▲座長

会長の方からは、どうでしょうか。

■委員

私がケース2の方がいいと思いますのは、離島ターミナルに駐まっている車がほとんどレ

レンタカーですね。安いと皆さんが来て、こちらの駐車場料金は非常に安いですねという声をよく聞きます。それで、やっぱり観光客も安いというイメージがあれば非常に駐めやすい。もちろん地元の方もですね、安いというイメージがあると駐めやすいということになるかと思うんですね。

ですから、新空港は安いというイメージを植えつけるというか、安いという料金設定をしないとですね、周囲にまた、民間の駐車場ができるかもしれませんので、せっかく造って頂くのに、皆さんが多いに利用して頂くためには、安い料金でお願いします。以上です。

■委員

商工会の宮城です。夜間駐車ですね。これは是非、言われているとおりにですね、料金を安くしてやってもらいたいと思います。1時間無料にできないかというお願いをしてきたんですが、それも難しいということで、やはり、2時間まで100円でどうかというのが前回もあったんですが、私は特にこの4番のですね、2時間まで100円というのをしてもらえれば、ありがたいなというふうに思っているんですけどね。

中部セントラル空港なんか見ていると、飛行機を利用しない皆さんが空港を楽しんでいますからね。レストランに入ったりですね、色んな所を回ったりして、何も飛行機に乗る方だけじゃなくて、それ以外の人も空港を楽しんでいるというのが、沢山あるように思います。

専務がおっしゃるように、空港に賑わいを持たしたいという希望を持っておりますので、是非2時間でやってもらいたい。できればの話ですが、4番のケースですね。1時間100円より50円刻みで、本当に市民の皆さんがですね、使いやすいようにして頂ければなと思います。

夜間駐車1000円はですね、どうしても今の現空港より遠くなると思うんですが、私は観光客は増えてくるだろうと思っております。是非、使いやすい、利用しやすい駐車場にしてほしいと思います。4番のとおりだと思います。

▲座長

ということで、ケース4ということで。

■委員

空港ターミナルビルの高良と申します。よろしく申し上げます。前回、ケース4ということで、こういう形はどうでしょうかということでご提案をさせて頂いたんですけども、それを受けて、作業をして頂きましてありがとうございます。

収支の問題はすごく大きな問題でして、これをどうするのかということがあるわけでございます。ただ、その収支の赤字、これをどう捉えるかなんですけども、1つ政策として、もっと大局的なところから処理できるのかなということで前回提案させて頂きました。

やはり、そういったニーズがありますということで、申し上げておきたいと思います。よろしく申し上げます。

▲座長

ケース4ということでよろしいでございますね。それでは、前津会長お願いできますか。

■委員

前津です。有料化になるということについてですね、あの収支については、維持管理を駐車料金ですべて賄うということが前提である場合は、1番だろうというふうに思っています。

やはり、今の空港はロケーションも素晴らしいですので、長い時間かけてですね、あの白浜の海岸の風景の記念写真を撮ったりですね、大変素晴らしいし、観光客も喜んでいるのかなと思っていますし、地元のお客さんも空港の店で楽しむといった要素も沢山あるだろうと思います。

先程もありましたように、離島ターミナルの料金ということとですね、利用者負担、他の駐車場の料金とのバランスを考えますと、私としては離島ターミナルの駐車場の料金設定がいいんじゃないのかなというふうに検討したほうがいいと思います。以上です。

▲座長

ケース2ということですね。

■委員

そうですね。時間も時間ですから。

▲座長

警察の立場として、八重山警察署からお願いします。

■委員

今の現在の空港の周辺ではやはり、路上駐車というのが問題になってますし、那覇空港だとか、宮古空港でもそういった違法駐車問題は当然現実問題としてあります。今回白浜の方に新しく移るということなんですけども、かなり大きな駐車場が確保されていますけども、その警察の立場としてはですね、うまくみんなに駐車場を利用してもらうことですね。

当然利用してもらうためには、他人の感覚からして、平均的な料金がいいだろうと。あまり高くすると管理運営には当然プラスかもしれないんですけど、それを利用したくないという人が回りに溢れてしまう。結果的に路上駐車になってくるといのが出てくると思うので、兼ね合いが難しいと思うんですけども、みんなが利用しやすいような料金設定がいいのかなというふうに考えます。

あまり路上に溢れてしまっ、取締りで解決するというのは、1番避けたいんですよね。その辺だけは、ちょっと気になっているところです。

▲座長

はい。どうも。最後にしたいんですが、県の方も4名おられますが、喜屋武さんか照屋さんかどちらがいいんですかな。

■委員

空港課長の照屋です。えっとですね。1番につきましては、収支が取れていますので、我々が説明しやすというのがあります。また、これでいきたいとなると、我々の方から押しつけるような形になりますので、そのような意見も参考にしてくださいね、これから検討することになります。

今回ですね、実はこの懇話会につきましてはの目的というのが、駐車場をうまく円滑に利用するかということだと思いますので、料金をどの程度にすればあの駐車場のキャパというのかな、利用者と駐車場のスペースが上手く行くのかというのがありますので、あんまり安すぎるとまた集中してですね、一般道路や国道まで違法駐車するということもありますので、このバランスをどうするかということだと思います。

我々からすると、できれば公共交通の方にシフトしてもらえればですね、より快適なターミナルの周辺環境になるんじゃないかなと思っています。

ちょうど宮古がいい例となっておりますので、これから皆さんの意見を聞きながら、財政課や議会などを含めてですね、説明させて頂くことになるかと思っています。

■委員

新石垣空港課の喜屋武です。今、照屋課長の方で県からのお話がありましたが、県の立場としてはやはり、収支でマイナスになるような料金設定は避けたいというのがあります。後はやはり、利用しやすいような料金設定、それも当然考えられています。

今回、色々なご意見やご提案を頂いているんですけども、ケース1からケース4まで出しておりまして、確かにそれぞれに性格的なものがありまして、どういったサービスがあるのかというのがありますけども、今後、県の内部でもですね調整した上で、先ほどの照屋課長からもありましたけども、財政課や議会関係等の説明もございますので、それも踏まえてですね、最終的に説明させて頂きたいと思っています。

1番気にするのは、駐車場を利用しないでですね、警察の方からもありましたけども、違法駐車が出るとかそういった問題は避けたいと考えております。以上でございます。

▲座長

それ以外に、別にございますでしょうか。

■委員

すいません。確認させてください。あの第2回でですね、駐車場のいわゆるこの初期の整備費用ですね。これ国庫補助ということで、減価償却は発生しないとのこと説明ですが、8頁

のところのリース料ですね。これはどういうものなんですか。

●事務局

この機器の耐用年数が6年であり、7年目から更新する必要が出てきますので、ここからリースに切り替える予定なので、リース料が発生するという事で算出しております。

■委員

そういうことですが、いいですか。これ、第2回目にご質問したと思うんですけどもね、やっぱり償却も含めてですね、少し少なくしていかないといかんでしょうという質問ですね。いや、これは国庫補助でやるから、減価償却はやらなくてもよいという対応があったんで、そこはちょっと本来やるべきことだと思っんで、こっちの方が正解だと思うんですよ。

国庫での話ではね、無しの方がいいのかなという感じはしたんですよ。第2回的时候にこういう説明があったんで、試算もしてみたんですよ。実際に。

▲座長

要するに、吉村委員からもありましたように、国庫補助の話のみでは、基本的には5年から6年で、その期間の話ですから。長期的には10年も20年もするわけですね。ですから、リース料が発生する、そういう見解で、やっていきたいと思っんですけども、よろしいでございますか。

●事務局

そういう理解でよろしくをお願いします。

▲座長

他の空港の例がございましたら、どうぞ。

■委員

航空局としては、どのよな形となっても支障はないと思っんですけど、できるだけ安ければ、安くていいと思います。ただ、赤字になった場合、どこがその補填をするのかということだけが心配なんですけども、どうなるんでしょうか。

また宮古空港の方は、上手くいっているということなんで、それでやってみて、多く収支があれば、さらに一定期間を置いて安くするという事ではどうなんでしょうか。

●事務局

長期的に見てプラス・マイナスがゼロになるように設定しますので、例えば3年間で大幅にプラスが出ても、長い目で見たら平準化されることもありますので、しばらく状況を見ないといけないところもあります。

■委員

赤字が続いた場合はどうするんでしょうか。あのずっと赤字になった場合は。

●事務局

今の所はですね、定期の駐車を確保しているものですから、その定額収入もある程度見込めますので、赤字になることは今のところないのかなと。

■委員

赤字になったらどうすのかという話ですね。まずですね、それにつきましては、やはり県の方の管理になりますので、県の財政から支出することになります。そういうこともありますので、注意してマイナスにならないような料金設定でやっていくと。

仮にですね、最初の料金設定で行った場合に5年、10年で結構黒字ができてきたと、そういう場合はですね、料金を下げるといふ検討もですね、それはできると思います。

ただ最初で赤字を出すようなことになって、後で料金を上げるのとどちらがいいのかと云うとですね、やはり、我々としては、当初から少なくとも黒字になるような料金設定をやっていきたいと考えております。

▲座長

それではですね、ケース1からケース4まで作業をお願いしていたんですが、懇話会としては、事務局が提示した4ケースの料金設定の絞り込みはやらない方がよろしいでしょうね。当然。事務局は、懇話会の今の意見を素直に届けて頂くということ。

●事務局

そうですね。事務局としましては、このケースというふうに絞るのではなくて、懇話会でこういう意見が出ていらっしゃるということでですね、今後、作業を進めていく上で参考にしたいと考えております。

▲座長

皆さん、それでよろしいでございますね。

■各委員

異議無し。

▲座長

それでは今日の結果について、ぜひ県の方にもお伝え願いたいと思います。

それではですね、議題の2番目ですね、料金設定についてはこの程度にさせて頂きたいと思います。

それでは進みまして、管理運営方針の確認をお願いします。

●事務局

－（事務局説明、資料-3）－

▲座長

今読んで頂きましたけど、新石垣空港管理・運営方針に関する懇話会の確認事項と致しまして、この確認事項を県にお届けしたいんですが、その他、確認事項がございましたら、お願いをしたいと思います。

■各委員

特に無し。

▲座長

この中では、先ほどの料金の話とかございますけども、料金については変更するかもしれない。有料化については決定でございます。よろしいでございますか。

■各委員

異議無し。

▲座長

はい。それではですね、懇話会の確認事項の案で県に届けたいと思います。どうもありがとうございました。

それではですね、引き続きまして議事の4、今後の取組についてお願いします。

●事務局

－（事務局説明、資料-4）－

▲座長

今後のスケジュールはこのような方法でありました。確認したいことはございますか。

■委員

市町村への説明はどのように行うのでしょうか。

●事務局

これはですね、個別に懇話会とか有料化の経緯とか懇話会でこういうふうに決定しましたよとかいうのを個別に行いたいと考えております。

■委員

出かけて説明されるんですか。

●事務局

我々の方がですね。お伺いして。

▲座長

よろしいですね。他にございますか。それでは、なければ議事の4番の今後の取組についてはこの程度で終わりたいと思います。

4. 意見交換

▲座長

最後に、これまでの説明を受けて、あの提案とか確認等がございましたらどうぞ。

■委員

先程、話がちょっと出ましたけども、市の方と委託関係が出てくるのですが、これは、何年度の予算に反映されるのかということですが、補正ということもあるんですかね。委託の話は担当者と詰めていけるのかということなんではないでしょうか。

●事務局

連絡調整会議で詰めさせて頂きたいと思います。

▲座長

県の方も最終的な決定は議会の後ですから、市は補正予算で対応するという事です。

よろしいでございますか。それではですね、以上で、懇話会の議事を終了したいと思います。沢山の意見を頂きました。また、7月22日から3回順調に開催し、閉会でございます。

事務局には、私共の意見を正確に県の方にお伝え願いたいということ要望致しまして、私の方はこれで閉じたいと思います。どうもありがとうございました。

5. 閉会

●事務局

漢那座長どうもありがとうございました。閉会の挨拶を新石垣空港課長の喜屋武よりお願い致します。

■委員

新石垣空港課の喜屋武でございます。閉会にあたり、ご挨拶させていただきます。座長の漢那副市長を始め、委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、7月の第1回懇話会、9月の第2回、本日の第3回の懇話会にご出席頂き、誠にありがとうございました。

駐車場の管理・運営方針の検討の際に、皆様から様々な視点からのご意見、ご提言を賜りまして、大変有意義な懇話会だったと思います。おかげさまで、今後、懇話会の大きな目的でありました、駐車場の運営方針につきまして、新石垣空港の供用開始と併せて駐車場を有料化するようご提言を頂きました。県としましては、着実に今後の手続きを進め、新空港において、利用しやすいよう駐車場の管理を行っていく所存でございます。重ねまして、委員の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

それでは、本日を持ちまして、本懇話会を閉会とさせていただきます。どうもお疲れ様でした。